



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース -介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!-

「介護の日」全国一斉行動で、日本全国に「介護ウェーブ」の大波!

「介護の日」全国一斉行動 市内2カ所で宣伝・署名行動 (福島) 高校生から高齢の方まで1時間足らずで215筆の署名

福島民医連は、介護の日を前に（11月9日）、医労連と共同による介護ウェーブ宣伝・署名行動を県内2か所（福島市といわき市）で行ない、あわせて28名の参加で265筆の署名が集まりました。

福島駅前の行動には、わたり福祉会の職員14名をはじめ23名が参加し、参加者が代わる代わるマイクを握って、「安心して利用でき、働きつけられる介護を」「財源は消費税引き上げではなく、無駄を削って国庫負担で」と署名を呼びかけました。マスコミが介護問題を大きく取り上げていることもあって市民の関心も高く、高校生から高齢の方まで1時間足らずで215筆の署名が寄せられました。参加者は多くの方から激励を受け、関心の高さにびっくりしながら、改善を実現するまで引きつづき行動を広げていく決意を語っていました。

また、この日の行動を組めなかった郡山の仲間は、近々発足を準備している介護利用者の会と一緒に、地域訪問による介護改善行動を計画しています。（2008.11.11 福島民医連 二瓶事務局長より）



「介護の日」全国一斉行動で、介護改善要求を市民にアピール！

11月11日 「介護の日」 宣伝行動に80人が参加（山梨）

11月11日「介護の日」の昼休み、山梨民医連はJR甲府駅前で宣伝行動を実施し、職員80人が参加しました。参加者は、横断幕、のぼり、ハンドマイクで「介護制度を改善しよう」とアピール。ビラを配布し署名への協力を訴えるとともに、11月15日（土）午後に開催する「やまなし介護フォーラム」への参加を呼びかけました。この日は、曇天で肌寒く駅前の人通りもまばらで、宣伝する人数のほうが多いという状況でしたが、それでも通行する人たちが次々と署名に応じ、30分間で46筆の署名が集まりました。また、地元マスコミも取材に訪れました。（2008.11.11 山梨民医連 今井拓さんより）



旭川「買い物公園」で街頭宣伝（北海道・道北勤医協）

「国が責任をもって、国民の介護要求にこたえ、介護労働者が働きつけられる報酬を」と、全国でとりくまれた「11.11介護ウェーブ」。旭川の買い物公園では、道北勤医協、同労働組合、えみな福祉企画などの、医療、介護の現場で働く人たち16人が、街頭宣伝をおこないました。はじめて宣伝に参加したという、社会福祉士の五十嵐巨森さん（ケアプランセンター）は、「思ったよりたくさんの方が、こころよく署名に協力してくれました」と語っていました。

（友の会強化月間 推進本部ニュース No.29 2008.11.12 より）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp